

新しい大阪市育成会を目指して

法人事務局
総務部長 飯塚 聡

この度、前任の泉原総務部長の後任として拝命しました。よろしくお願い致します。

今年度からは新しい取り組みとして実施することが幾つかあります。

1点目としては、支部連絡会で全日本育成会の「手をつなぐ」を元に会員の皆さまと学習する機会を設けます。支部連絡会には、前月発行の「手をつなぐ」をお持ちのうえお越してください。

2点目としては、昨年度より支援センターを中心に準備が進められていました港区にお住まいの障がい当事者を中心に支部「きずな会」がこの4月に設立されました。今後は本人活動も含めて拡大していくこととなります。

3点目としては、情報発信のあり方として、現在、機関紙「ふれあい」と法人のホームページがありますが、今年度は内容も含めて改変を検討しています。分かりやすい形での情報発信ができればと思います。

4点目としては、会員組織の大阪市育成会として会員数は近年横ばいの状態になっています。全日本育成会のこともありますので、昨年度は会員規則を改正し会員の種類を整理したところですが、抱えている課題については解決に至っていない状況です。今年度は小泉理事長をはじめ役員を含めて、抱えている課題を整理しながら、会員数の増加に向けて事業の実施内容等も含めて各種検討を実施していきたいと考えています。

今年度に取り組んでいこうと現在考えている大きな課題としては、以上の4点になりますが、これら以外にも小さなものを含めると、まだまだたくさんあります。

最終目標としては、会員の皆さまにとっても、職員にとっても「大阪市手をつなぐ育成会にいて良かった。」と言ってもらえるような組織を目指したいと思います。その目標に少しでも近づけることができるよう、法人本部と各事業所が一体となって、徐々にではありますが、よりよい大阪市育成会になるように努力して参りますので、今後とも、皆さま方のご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。



安心できる毎日のために

東成育成園
管理者 林 祥子

心地よい陽射しと満開の桜に迎えられ、このたび東成育成園の管理者を拝命いたしました。今年度は、私を含め3名の職員が東成に赴任し、平成26年度、新たなチームでスタートしております。

東成育成園では、施設独自でスタッフに行動規範と倫理綱領が示されています。行動規範には、権利擁護・寄り添う支援の姿勢・地域への貢献・専門性を高めるための自己研鑽などに触れた《基本的姿勢》と、人権尊重・利用者が主役であるために・一人ひとりの利用者にもふさわしい支援を・社会参加への支援・情報の提供・地域の資源としての役割・支援の専門職であるために・・・という《具体的行動規範》が、それぞれの項目ごとに細やかに示されています。

当たり前のことですが、この仕事をする上では、とても基本的でとても大切な事柄です。日々の作業や個別活動、行事等々、多くのプログラムがありますが、生活介護や就労継続B型の事業の区別なく、これまで東成育成園で大切にされてきた『自分らしく生きる』というテーマをより具現化させていくために、今一度この行動規範と倫理綱領を全スタッフで見直し、常に心に刻みながら職務に就けるよう進めてまいりたいと思います。

また、その実現のためにはスタッフ個々人のスキルアップは必須です。資格取得にとどまらず、幅広い研修への参加による専門知識の習得を勧めることはもちろんのこと、中堅のスタッフには運営・経営面の視点や、組織力を高めるための意識をもってもらえるような働きかけをしていきたいと考えています。

東成は言わずと知れた、法人内で最も歴史ある施設です。これからも会員の皆様に求められる存在であり続けるために努力をしております。この26年間に積み上げられた信頼と伝統を受け継ぐことに緊張感を抱かずにはおれませんが、皆様にご指導・ご支援をいただきながらスタッフと共に頑張っておりますので、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

